

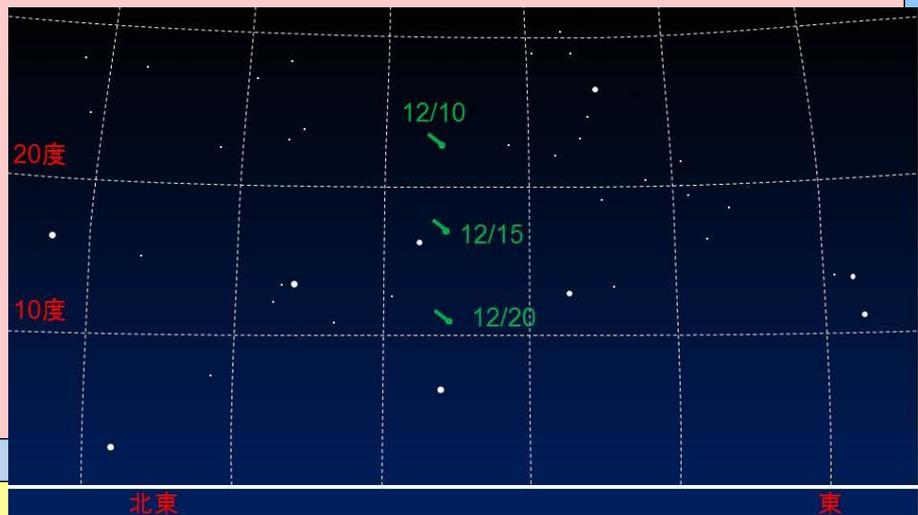
伏兵、現る！ ラブジョイ彗星を見よう

明るくなると期待されながらも、太陽に近づいたときに残念ながら崩壊してしまったアイソン彗星。しかし、反対に予想外に明るくなっている彗星もあります。その名はラブジョイ彗星。アイソン彗星がなくなっても、まだまだ見るべき彗星があるようです。

空のどこに見える？

ラブジョイ彗星はオーストラリアのアマチュア天文家、テリー・ラブジョイ氏によって発見されました。2013年9月に発見されたばかりですが、予想以上に明るくなりました。

ラブジョイ彗星も、アイソン彗星同様、明け方の東の空に見られます。下旬に近づくとつれて光度も高度も下がってきますので、なるべく早めに見たほうがいいでしょう。近くにかんむり座が見えていますので、それらの星を目印にさがしてみてください。少し緑色をしたボーっとした姿が見られるはずですが、尾も見えるかもしれません。



12月10日5:00、12月15日4:40、12月20日4:20のそれぞれのラブジョイ彗星の位置

双眼鏡が必要か？

明るくなっているといってもラブジョイ彗星は4等台。4等の彗星は広がっているため淡くなってしまい、4等星と同じようには見えません。しかもゆっくりと暗くなっていきます。天の川が見えるような空が暗いところでは肉眼で見える可能性もありますが、市街地では双眼鏡が必要でしょう。



この数字が双眼鏡の倍率や口径などを表しています。

7×50 とは、倍率が7倍で口径が50mm という意味です。

双眼鏡は低倍率の物を選びましょう。口径50mm、7倍程度のもが最適です。

